

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 ハビステ谷山		公表日 2026年2月6日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		場所や支援員の数を見ながら工夫して取り組んでいます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動案や当日の利用児の状況を踏まえて、適切な配置を考えながら支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用児童に合わせた空間づくりができるように配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		整理整頓をし、見通しを立てて心地よく過ごせる空間づくりができるように配慮を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		可能な限り空きスペースを確保するように努めており利用児の状況で使い分けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼・終礼時に改善点や気づきを共有し、話し合いを行い、改善に役立てています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		例年のアンケートから、活動内容等の見直しを実施。来所時に、保護者の意向等の確認も行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員同士で相談をしながら必要に応じて検討しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		現在は外部評価を行っていません。	第三者機関を検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内研修を実施。また、外部の研修にも参加し、職員間で情報を共有している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で情報を共有し作成した内容を公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		専門職の視点から個々の利用児に合わせた検査を用いて評価を行い、それを元に個別支援計画の作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議にて多職種意見交換をしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース会議を行い、職員で内容把握に努め、支援内容を共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		定期的に標準化されたツールを用いた評価を行っています。それに加え、日々の行動などは職員で情報を共有し記録し、それを基にアセスメントを行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインから項目を選択し、支援内容を設定しています。また、保護者の意見や評価内容・関係機関との情報共有した結果等も踏まえて支援内容の設定を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援計画を基に、複数人で話し合いを行い、立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用児の苦手な部分や保護者様の意見など目的に合わせて都度変更し、作成を行っています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団それぞれでの評価を実施し、結果に応じて児童発達支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼などで事前に伝えています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日にできない場合もあるが、時間を見つけて振り返り等行うように取り組んでいます。終礼ノートなどを用いて休みの職員も共有できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援を記録し内容の振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングとそれに伴う計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		様々な利用児の交流を図り、支援を行っています。保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		地域の連携協議会に参加し、助言を受ける機会を得ています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		療育の中で他園との児の交流や活動をする機会があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡表にて利用時の様子を伝え、気になる事があればメール、電話、SNS等を利用して状況の共通理解を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を実施し、利用児との接し方の支援や情報の共有を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に十分な説明を行い、質問に応じて適宜相談できる体制を整えています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成の際は、事前にモニタリングの機会を作りこどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談にて「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		メール、電話、SNS等を利用していつでも相談できる体制を整えています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	療育を利用している兄弟児の交流は行っていますが、保護者会は実施できておりません。	来年度は開催を目的とした計画を検討します。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談や申入れがあった際は、すぐに担当者及び児童発達支援管理責任者が対応できるように体制を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	HPやInstagramを活用して情報の発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報取り扱いに関する研修を必ず実施している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	面談やメール・電話・SNS等多くの手段を用いて情報伝達を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	町内会での清掃など地域交流を図る機会を作っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを整備し、緊急時、防犯、感染や災害の発生に備え定期的に研修や訓練を行い安全管理の徹底に努めています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	必要なBCPを策定し、感染や災害の発生に備え定期的に研修や訓練を行い安全管理の徹底に努めています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	事前のモニタリングにて利用児の情報の聞き取りを行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーの把握はしていますが、食事提供は行っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、定期的に研修や訓練を行い安全管理の徹底に努めています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	マニュアルや計画等は玄関など目に付く場所に掲載し周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	事例に対して常に共有と検討を行い対策を講じています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	実施しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	委員会を中心に規則を策定し、実施の際は、計画に記載した上で十分な説明と了承を得ている。		